

## フィッシング対策協議会より 2021年度「チャレンジコイン」を受贈

ネットワーク開発部の久保 耀介，サービスデザイン部の儀間 哲仁，国際事業部の三谷 咲子，サイバーセキュリティ対策室の北出 卓矢，人事部の田中 威津馬，スマートライフ推進部の高橋 亮吉が，フィッシング対策協議会より「チャレンジコイン」を受贈しました。

「チャレンジコイン」は，フィッシング詐欺対策コミュニティにて顕著な活動を行っている有識者などに対して贈呈される記念品であり，2020年度に設けられました。

受贈者らは，「危険SMS拒否設定」の取組みなどに加え，以下のようなフィッシング対策の数々の技術検討および啓発活動に取り組んできました。

- ・モバイル業界内および異業種間におけるワークショップ開催とメディア説明会の企画（半期に1度開催）
- ・セキュリティ系イベント登壇（GSMA：Global System for Mobile Communications Association，JPAAWG：Japan Anti-Abuse Working Group，JANOG：Japan Network Operators' Group，ISAC：Information Sharing and Analysis Centerなど，国内外の団体での発表・議論）
- ・モバイル業界内合同プレスリリースの発出 [1]

- ・GSMAの技術部会における対策議論の寄書提案および情報共有

これらの活動により，フィッシング対策協議会の運営委員，ワーキンググループ主査，チャレンジコインホルダーらの推薦により，2021年度を受贈者として選定されました。

「危険SMS拒否設定」は，SMSの送信元情報や本文内容などに基づいてフィッシングSMSを判定し，ドコモのネットワーク上で検知・ブロックを行う機能であり，2022年3月より提供されています。本機能の技術概要については，本誌Technology Reports記事「SMSを用いたフィッシングを防止する検知・防御技術概要」をご参照ください [2]。

### 文 献

- [1] 日経新聞：“携帯4社，フィッシング詐欺の注意喚起，” Jul. 2021.  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC216UQ0R20C21A700000/>
- [2] 岩井，ほか：“SMSを用いたフィッシングを防止する検知・防御技術概要，” 本誌，Vol.30，No.1，pp.37-41，Apr. 2022.

本誌に掲載されている社名，製品およびソフトウェア，サービスなどの名称は，各社の商標または登録商標。



チャレンジコイン（フィッシング対策協議会より提供）



（左上から）田中，久保，儀間  
（左下から）北出，三谷，高橋